

あおぞら

行方市 社協だより

No. 62 2021.9.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲478 番地 1
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>

夏の思い出

夏休み、参加者の
ストレス軽減と保護
者の負担の軽減を目
的にこのびのびサポ
ーにこのびのびサポ
ーを実施しました。参
加者の気持ちに寄り
添って接していただき
いた協力者の方たち
と地域の自然を満喫
したり、日替わりで
スポーツや創作活動
をして楽しく過ごす
ことが出来ました。



手鷲ふれあいの森散策



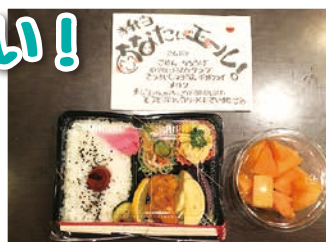
バルーンアート体験



あなたにエールをとどけたい!

ひとり親世帯サポート

「お弁当支援」



地域ボランティア団体「エール」が、コロナ禍で仕事や活動が制限され、収入が減っているひとり親世帯を支援するプロジェクトを本年度よりスタートしました。

令和3年4月に麻生地区で第1回目をを行い、7月11日(日)には、玉造地区の方を対象に玉造庁舎正面玄関を配布場所としてひとり親世帯を対象に30食のお弁当の配布を行いました。

今後の計画としては、12月に北浦地区を対象にお弁当の配布を予定しております。

もくじ

- 令和2年度 社会福祉協議会
事業報告…………… 2～5
- 令和2年度 社会福祉協議会決算報告
- いきいき長寿者紹介…………… 6

- 社協の事業案内…………… 7
- 善意銀行・編集後記…………… 8
- おしらせ

令和2年度 事業報告

「誰もが安心して暮らすことのできる地域の実現に向けて住民の皆様や、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります」

【会員数】

- ・一般会員 7,873世帯
- ・賛助会員 19世帯
- ・特別会員 86事業所

【善意銀行運営事業】

- ・市民の皆様の温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。（指定寄付金4件、一般寄付金22件、物品等寄付19件）

【地域福祉事業】

○地域福祉事業

〈給食サービス事業〉

在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするとともに、声かけや安否の確認をしました。

麻生地区 延べ1,414食
協力 麻生地区
給食ボランティア

北浦地区 延べ930食
協力 ボランティアグループ
さわやか
北浦地区食生活改善推進員
玉造地区 延べ1,627食
協力 玉造地区
給食ボランティア



給食サービス事業

〈介護予防事業〉

・サロン活動支援

高齢者が生涯健康で生きがいを持つて社会活動できるよう健康・生きがい作りに関する事業を実施しました。（2ヶ所 計

104回 延べ389人参加）
元気で～さ～びす館

高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。（5ヶ所 計74回 延べ372人参加）



元気で～さ～びす館

〈コミュニティ活動の支援〉

・生活支援体制整備事業

地域住民が主体となつて住民同士がお互いに助け合う体制づくりを推進します。（協議体の設立、第一層協議体の開催 年10回開催、第二層協議体の運営 年8回開催）

○障害児（者）福祉事業

〈ビックリ・発見・夏キャンプ〉

協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

〈のびのびサポート事業〉

長期休暇中の特別支援学校に通学している児童・生徒または特別支援学級を利用している児童・生徒のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

〈親子ふれあい事業〉

同じ悩みをもつ家族同士の交流や情報交換の場を提供しコミュニティづくりを推進しました。（3回 延べ41名参加）

○母子・父子福祉事業

・小・中学校入学の児童に対しお祝い品として体操服を贈呈させていただきました。（13件）

○ひとり親家庭等応援事業

（市共催）

・新型コロナウイルスによる小中学校の休業や外出自粛により、心理的・経済的な負担を抱えているひとり親の家庭等に対し、行方市特産品の詰合せを配布しました。(201世帯 306個)

○子育て支援事業

〈子育てサポート事業〉

子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育て支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。(保育サービス提供時間10、5時間)

○ボランティア活動の推進

〈ボランティアセンター事業〉

ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。(団体登録31団体 依頼件数15件 派遣延べ人数48人)

〈手作りマスクボランティア活動〉

個人・団体合わせて31人の協力により市内のマスクを必要とされている方へ1,335枚の手作りマスクを送らせていただきました。

〈福祉教育の推進〉

高齢者や障害者への正しい理解促進のために学校等での各種福祉体験学習をする(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

○共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも戸別募金・学校等募金・イベント募金・職域募金を実施しました。

(募金総額3,773,455円)
(災害義援金(総額8,796円))



麻生小学校による募金運動

○歳末たすけあい運動

市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。(除草等7件 障子張り57件 網戸張替44件 窓掃除37件 廃棄処分37件 居間の掃除1件)

【相談支援事業】

○法律相談事業

弁護士による無料法律相談を実施しました。

(毎月1回 相談件数66件)

○日常生活自立支援事業

自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。(相談件数9件 利用者数9名)

【資金貸付事業】

○生活福祉資金貸付事業

(茨城県社会福祉協議会より事務委託)

・低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。(相談

件数1件)

・新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金の特例貸付(緊急小口資金201件 総合支援資金189件 総合支援資金延長57件 総合支援資金再貸付41件)

【在宅生活支援事業】

○福祉機器貸出事業

疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。(88件)

○福祉車両貸出事業

障害者や高齢者及びその家族の方に車いすごと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。(242件)

○訪問歯科治療機器貸出事業

歯科医への訪問治療機器の貸出を行いました。(4件)

○在宅福祉サービスセンター事業

高齢者や障害者(児)に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。(利用件数 述べ1,663

件 利用時間 延べ2748.5
時間)

○在宅言語等リハビリアドバイザー事業

病气やけがにより言葉によるコミュニケーション能力の低下した方に対して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。(利用人数29人)

【広報啓発事業】

○社協だより「あおぞら」の発行

(6、9、12、3月)
○ホームページの管理運営
(SNSを含む)

【介護保険事業】

○居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員(ケアマネジャー)によるケアプランの作成、利用者のサービス提供相談、訪問助言指導、介護保険認定調査を実施しました。(プラン作成数 介護延べ1,578件 予防延べ184件 第1号介護予防延べ120件 介護保険認定調査 31件)

医療機関及び福祉施設等を退

院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。(76件)

○訪問介護事業

指定訪問介護事業所の運営を行い、要介護の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。(利用者数 延べ11,651人 派遣時間 延べ11,583時間25分)

○第一号訪問介護事業

事業対象者、要支援の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。(利用者数 延べ1,756人 派遣時間 延べ1,721時間5分)

○地域包括支援センター事業(麻生)

心身の健康の保持及び生活の安定の必要な援助を行いました。(訪問相談件数 412件 プラン作成数 介護予防110件 第一号介護予防111件 介護保険認定調査2件 新規相談61件)

【障害者福祉サービス事業】

○居宅介護

指定訪問介護事業所(総合支援

法)の運営を行い、障害者(身体・知的・精神)への身体介護・家事援助サービスを実施しました。

(利用者数延べ5,148人 派遣時間4,805時間50分)

○同行援護

視覚障害により移動に著しい困難を有する方が外出する際、本人に同行し、移動に必要な情報の提供(代筆・代読を含む)移動の援護等の外出支援を行いました。(利用者数延べ8人 派遣時間 延べ20時間57分)

○計画相談支援

指定特定相談支援事業所の運営を行い、相談支援専門員によるサービス等利用計画の作成、関係機関との連絡調整、障害支援区分認定調査を実施しました。(利用者数 障害者83人 児童23人 障害支援区分認定調査30件)

【地域生活支援事業】

○障害者移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して外出のための移動を支援しました。(利用者数 延べ20人 派遣時間 延べ96時間55分)

○ドリームハウス管理運営事業(就労継続支援B型・地域活動支援センター)

障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。(月々金 9時30分～15時 作業内容 公園清掃及び除草作業、内職作業、生活訓練、創作活動等)

(利用者 行方市18人 銚田市1人 小美玉市1人 稲敷市1人)

【その他社会福祉関連事業】

○新公共交通システム事業

利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー(デマンド型乗合タクシー)の運行を実施しました。(利用者登録数 4,510人 利用者数 延べ9,925人)

○福祉バス管理運営事業

住民の福祉向上・増進のための事業に必要な移動の円滑化を図るために運行しました。
(1号車 稼働日数6日 延べ97人 2号車 稼働日数10日 延べ68人)

【当事者団体支援事業】

行方市老人クラブ連合会
行方市ボランティア連絡協議会
行方市身体障害者福祉協議会
行方市遺族会

の運営支援を行いました。



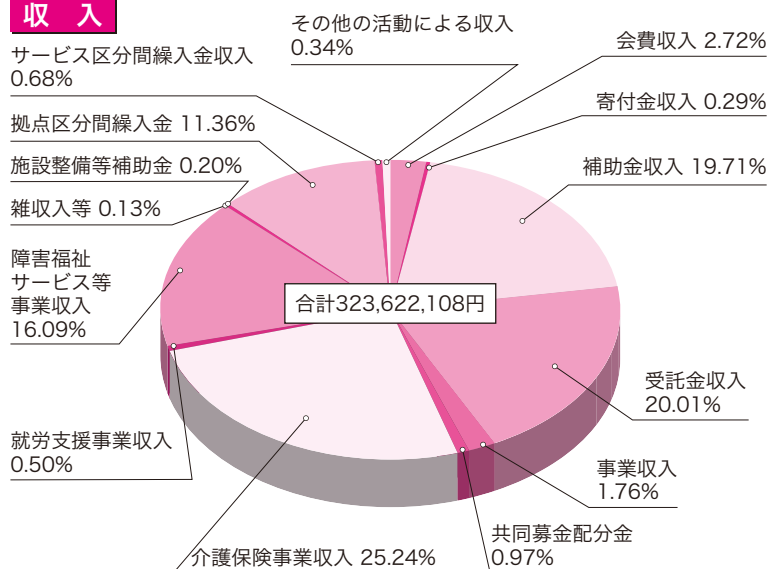
行方市老人クラブ「クロッケー大会」

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していましたイベント、行事等について、中止・延期、または規模を縮小しての開催となりました。

令和2年度 社会福祉法人行方市社会福祉協議会決算

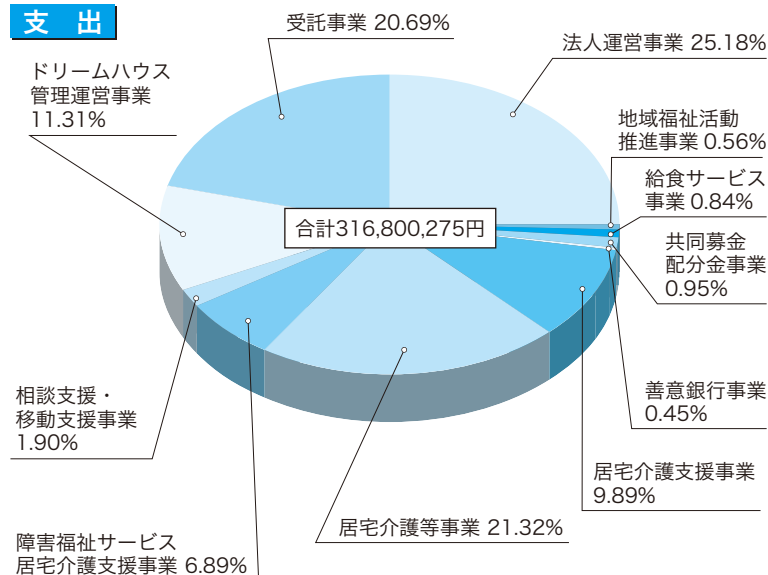
(単位：円)

収入



会費収入	8,800,000
寄付金収入	942,216
補助金収入	63,785,855
受託金収入	64,758,532
事業収入	5,689,245
共同募金配分金収入	3,145,076
介護保険事業収入	81,688,609
就労支援事業収入	1,602,662
障害福祉サービス等事業収入	52,082,840
雑収入等	406,488
施設整備等補助金収入	660,000
拠点区分間繰入金収入	36,762,105
サービス区分間繰入金収入	2,200,000
その他の活動による収入	1,098,480
合計	323,622,108

支出



法人運営事業	79,780,437
地域福祉活動推進事業	1,782,776
給食サービス事業	2,669,828
共同募金配分金事業	3,009,890
善意銀行事業	1,438,082
居宅介護支援事業	31,342,424
居宅介護等事業	67,534,904
障害福祉サービス居宅介護事業	21,835,660
相談支援・移動支援事業	6,023,501
ドリームハウス管理運営事業	35,834,578
受託事業	65,548,195
合計	316,800,275

いきいき長寿者紹介

野原 幸喜さん 88歳
和子さん 88歳
 (行方市手賀)



昭和8年生まれの幸喜さん、和子さんご夫妻。今年お二人仲良く米寿を迎えます。

北浦に生まれ育った和子さんが幸喜さんの元に嫁いだのは二〇歳の時。一男一女に恵まれ子育ての中、農業と養殖業を営む幸喜さんとともに頑張ってきました。

核家族化が進む中、現在野原さんのお宅では、四世代家族がお互い協力しながら暮らしています。

趣味でもあり生きがいでもある

ゲートボール

ゲートボール歴は、幸喜さん



2人仲良くゲートをねらって

に関しては20年、和子さんは30年とお二人とも雨の日以外はゲートボール場へ通っています。「ゲートボール場へ行けなくなったらもう終わりだね」などと笑いながら冗談交じりで和子さんが一言、隣に座っている幸喜さんも微笑んでいました。二人ともゲートボール歴が長いだけではありません。実績も

残されています。過去、全国健康福祉祭（ねんりんピック）には2回出場しています。第17回の群馬大会では、全国で第3位と好成績を残されました。

一日の始まりに

お二人の日課でもある仏壇への朝のお参りは、一日たりとも欠かしたことはありません。常に感謝の気持ちをもってお参りをしていると話してくれました。仏壇への花活けも幸喜さんが行うそうです。

午後、幸喜さんは散歩4キロを欠かさず歩いています。そして、夕食後に欠かさないのがアルコールです。これも毎日欠かしません。この話に、和子さんからはひと言、断酒と言われてしまいました。厳しい一言ですが、微笑ましい光景でした。

和子さんも、長年続けていることがあります。毎日の記録をつけているそうです。書かない

と忘れてしまつ、書くことは良いことだと、話してくれました。



お二人の目標

最後にこれからの目標を聞いてみると、お二人とも今のまま現状維持ができればと話してくれました。

一時間という限られた時間の中でお互いがお互いを思いやる心、そして、お二人の仲の良さを感じました。

これからも、お二人仲良くゲートボールに励み、仲良く元気に100歳を迎えてください。ありがとうございました。

社協事業案内⑧～子育てサポート事業～

★こんなサービスあったんだ!

応援します! 子育てと仕事の両立

子育ての援助を受けたい人（利用会員）と子育ての援助をしたい人（協力会員）が会員となり、お互いに助け合って活動するサービスです。



このような時に利用してください

保育園・幼稚園等保育施設、学童までの送迎、お迎え後の預かり
保育園・幼稚園等保育施設の開始前や終了後、休園日等の預かり
保護者の病気などの時の預かり
その他保護者の必要に応じて
※原則お子様を預かるときは協力会員宅で行います。

利用会員

市内に居住または勤務する者で生後 6 か月から中学校就学前までのお子様を持つ方

利用時間及び利用料

平 日 午前 7 時から午後 7 時まで 1 時間あたり 800 円
午後 7 時から午後 9 時まで 1 時間あたり 900 円

※利用料金はお子様一人の金額です。

※一世帯につき 1 時間あたり 400 円の助成金を交付します。

休業日 土日祝日及び年末年始（12月29日～翌年1月3日まで）

キャンセル料

- （1）前日までの取消 無料
- （2）当日の取消 半額
- （3）申出がない時の取消 全額



☆サービスを利用するにあたり社会福祉協議会へ登録、申請が必要となります。

☆利用会員・協力会員双方の調整がつかない場合には利用ができない場合もあります。予めご了承ください。

この紙面についてのお問い合わせ 0299-36-2020 地域福祉係まで

行方市善意銀行

令和3年5月1日から令和3年7月31日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。

皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金（順不同・敬称略）

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
セキショウふれあい基金	250,000	無指定
関彰商事株式会社	250,000	無指定
鳥次昭博	20,000	無指定
加藤ゆみ	10,000	無指定
鹿行地区はつらつ百人委員会	11,000	ボランティア活動

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
甲 浩二	紙オムツ	無指定
匿名	米30 kg	給食サービス事業



関彰商事株式会社

令和3年度下半期 法律無料相談会のお知らせ

☆下半期日程のお知らせ

第6回 9月 6日(月)	第7回 10月 4日(月)
第8回 11月 1日(月)	第9回 12月 6日(月)
第10回 1月17日(月)	第11回 2月 7日(月)
第12回 3月 7日(月)	

予約等お問合せについて事前に下記までお電話ください。

0299-36-2020 地域福祉係まで

介護者のつどい

～介護の悩みなどみんなで話しませんか？～

「介護者のつどい」とは、ご家庭で介護をされている方や介護の経験がある方が集い、自由に話していただく場です。日頃一人で抱えている介護のストレスなどをみんなで話し合い、悩みを共有し、情報交換することで、少しでも気持ちが軽くなればという思いで行っております。

介護に悩んでいる方・興味がある方・どなたでも自由参加です。

○開催場所：天王崎観光交流センター「コテラス」2階多目的室

○開催日：令和3年9/6(月)、10/4(月)、11/1(月)、12/6(月)、令和4年2/7(月)、3/7(月)

○時間：13時30分～15時00分

○申し込み・お問い合わせ：

地域包括支援センター ☎0299-55-0114



令和3年度 共同募金運動

◇ 赤い羽根共同募金運動 ◇

(10月1日～12月31日)

令和3年10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。

各地区における戸別募金を始め、皆様からお寄せいただいた募金は、市内の地域福祉活動に役立てさせていただきます。



◇ 歳末たすけあい募金運動 ◇

(12月1日～12月31日)

歳末たすけあい募金運動は、市内に在住する支援を必要としている方々へ新たな年を迎える時期に、家事援助等のサービスを実施しています。



【お問い合わせ先】

茨城県共同募金会 行方市共同募金委員会

〒311-3512 茨城県行方市玉造甲478番地1

行方市地域包括支援センター内

社会福祉法人行方市社会福祉協議会内

TEL：0299（36）2020

「令和3年7月大雨災害義援金（静岡県・島根県）」の募集について

令和3年7月上旬の大雨により、静岡県及び島根県内において甚大な被害が発生しました。これを受けて各共同募金会では7月の大雨災害により被災された方々を支援するため、義援金を募集しています。

【義援金受付期間】

静岡県 令和3年10月29日迄

島根県 令和3年 9月30日迄

「マスクの着用」「手洗い」「密」新しい生活様式にも慣れてきつつある今日です。私自身も2回のワクチン接種を受け、日々気を付けています。まだまだ厳しい状況ではありますが、収束し二年前の生活ができます事を願っています。

高柳 利子

編集後記

広報委員

委員長	熊谷 一男	委員	代々城千尋
副委員長	理崎 道子		高柳 利子
委員	金井 裕子		大原 孝
	菅谷 京子		横田 照実
	磯山 正子		稲川 勝

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報誌 あおぞら」や「市報 なめがた」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。